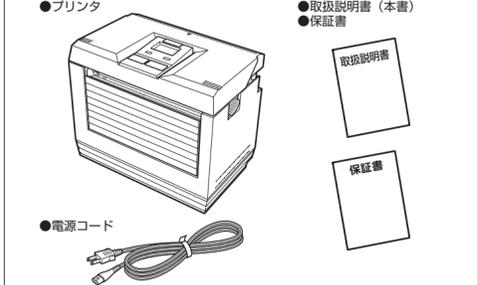


CF408T 取扱説明書

このたびは、当社「パソコン」CF408T (以降、「本プリンタ」と呼びます) をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

1. 同梱品の確認

箱の中には以下のものと同梱されています。すべての同梱品が揃っているか確認してください。もし、足りないものがありましたら、購入された販売店またはディーラーまでお問い合わせください。



- プリンタ
 - 取扱説明書 (本書)
 - 保証書
 - 電源コード
- ご注意
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入された販売店、ディーラーへご連絡ください。
 - この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをください。

初版 2012 年 9 月
第2版 2013 年 10 月 Q03973001
©2013 株式会社トー

2. 安全上のご注意

この取扱説明書では、プリンタのご使用に関する安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

警告

- 電源コードの電圧は使用しない
- 内部に電線を入れない
- 濡れた手で電源を入れない
- 電源コードの電圧は使用しない
- サーマルヘッド
- プリンタ清掃用の取り扱いについて

注意

- 電源コードの電圧は使用しない
- 内部に電線を入れない
- 濡れた手で電源を入れない
- 電源コードの電圧は使用しない
- サーマルヘッド
- プリンタ清掃用の取り扱いについて

注意

- 電源コードの電圧は使用しない
- 内部に電線を入れない
- 濡れた手で電源を入れない
- 電源コードの電圧は使用しない
- サーマルヘッド
- プリンタ清掃用の取り扱いについて

3. 各部の名称

【本体外觀】

- 表示・操作部
- 用紙排出口
- トップカバー
- オープンレバー

【本体外觀 (カバーオープン)】

- 1 サーマルヘッド
- 2 プラテンローラー

● 表示・操作部

- 電源 OFF 時に押すと電源が ON になり、電源 ON 時に押すと電源が OFF になります。
- 通信 LED (緑)
- ディスプレイ
- エラー LED (赤)
- [発行/選択] キー
- [紙送り/決定] キー

● 用紙排出口

- ハクリユニットオープンレバー
- 台紙排出口
- プラテンローラー
- ハクリローラー
- ハクリユニット

● 用紙排出口

- カッタユニット

4. インターフェースの接続

【背面図】

- 用紙差込口
- ラベルガイド
- USB インタフェース
- 電源入力端子 (電源コネクタ)
- ラベルガイドロックレバー
- LAN インタフェース

【表示・操作部】

- 電源 OFF 時に押すと電源が ON になり、電源 ON 時に押すと電源が OFF になります。
- 通信 LED (緑)
- ディスプレイ
- エラー LED (赤)
- [発行/選択] キー
- [紙送り/決定] キー

● 用紙排出口

- ハクリユニットオープンレバー
- 台紙排出口
- プラテンローラー
- ハクリローラー
- ハクリユニット

● 用紙排出口

- カッタユニット

3. 各部の名称

【本体外觀 (ハクリ仕様 オプション)】

- 用紙排出口
- ハクリユニットオープンレバー
- 台紙排出口
- プラテンローラー
- ハクリローラー
- ハクリユニット

● 用紙排出口

- カッタユニット

【本体外觀 (カッタ仕様 オプション)】

- 用紙排出口
- カッタユニット

【ディスプレイの表示】

● 通常モード

HEX H0000

● 情報表示部 (表示色: 黄)

● メッセージ表示部 (表示色: 青)

● 各種設定モード

● 印字設定

● 基点補正

V:+0000 H:+000

● 設定モード表示部 (表示色: 黄)

● 設定項目表示部 (表示色: 青)

● 設定内容表示部 (表示色: 青)

5. 電源を入れてみましょう

注意

インタフェースケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。

インタフェースの規格に適合したケーブルをご使用ください。

ご使用になるインタフェースケーブルの端子の向きを確認して、インタフェースコネクタに接続します。

接続するときは、本プリンタを押さえて、インタフェースケーブルをしっかりと差し込んでください。

● USB インタフェース

● LAN インタフェース

● 電源キーを約 1 秒押しします。

※ 電源コードを接続した直後は、約 10 秒間待って [電源] キーを押してください。

● 電源キー

4 ディスプレイに「発行可能」が表示されます。

6. 用紙のセット

1 ファンフォールド紙のセット

- ラベルガイドロックレバーを手前に引き、用紙の幅に合わせてラベルガイドを通します。調整後は、ラベルガイドロックレバーを元に戻します。下図は、ロックされた状態です。
- 使用する用紙長さ 1 枚 + 5cm 以上プリンタから離して用紙を設置してください。用紙差込口に用紙を通すと、自動で用紙をセットします。※ 電源コードとインタフェースケーブルは、用紙に触れないようにセットしてください。

2 ロール紙 (オプション) のセット

- 外部供給装置 (オプション) を本プリンタに取り付けます。外部供給装置のポスト (突起部) をプリンタ底面の穴にセットします。
- 使用する用紙幅 (mm) に合わせて、左右のガイドを目盛の位置に調整してください。ガイドコアをラベル支管にセットします。
- 用紙を外部供給装置にセットします。ガイドコアの溝をフレームの平らな部分にセットします。
- ラベルガイドロックレバーを手前に引き、ラベルガイドを用紙サイズに合わせて、ファンフォールド紙のセット手順 1 をご覧ください。
- 本プリンタの電源を入れます。用紙差込口に用紙を通すと、自動で用紙をセットします。

3 ハクリ仕様 (オプション) のセット

- 外部供給装置 (オプション) を本プリンタに取り付けます。外部供給装置のポスト (突起部) をプリンタ底面の穴にセットします。
- ラベルガイドロックレバーを手前に引き、ラベルガイドを用紙サイズに合わせて、ファンフォールド紙のセット手順 1 をご覧ください。
- 用紙を外部供給装置にセットします。ガイドコアの溝をフレームの平らな部分にセットします。
- 本プリンタの電源を入れます。用紙差込口に用紙を通すと、自動で用紙をセットします。

4 カッタ仕様 (オプション) のセット

- 外部供給装置 (オプション) を本プリンタに取り付けます。外部供給装置のポスト (突起部) をプリンタ底面の穴にセットします。
- 用紙を外部供給装置にセットします。ガイドコアの溝をフレームの平らな部分にセットします。

7. 動かしてみましょう

1 発行可能操作

発行可能 000000

2 停止中操作

停止中 000000

3 発行キャンセル操作

発行停止中 発行キャンセルするしない

発行停止中 発行キャンセル完了

8. 設定してみましょう

2 設定モード操作

● 設定モードは、本プリンタご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

2-1 基本設定操作

● 設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

印字設定

● 印字設定では、調整設定の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。

フォント設定

● フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。

動作設定

● 動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙幅設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。

7. 動かしてみましょう

1 発行可能操作

発行可能 000000

2 停止中操作

停止中 000000

3 発行キャンセル操作

発行停止中 発行キャンセルするしない

発行停止中 発行キャンセル完了

8. 設定してみましょう

1 調整モード操作

● 調整モードでは、印字位置、停止位置、カット位置、印字濃度、ブザー音、画面の明るさを設定できます。

調整モード

● 調整モードは、印字位置、停止位置、カット位置、印字濃度、ブザー音、画面の明るさを設定できます。

8. 設定してみましょう

2 設定モード操作

● 設定モードは、本プリンタご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

2-1 基本設定操作

● 設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

印字設定

● 印字設定では、調整設定の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。

フォント設定

● フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。

動作設定

● 動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙幅設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。

8. 設定してみましょう

2 設定モード操作

● 設定モードは、本プリンタご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

2-1 基本設定操作

● 設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

印字設定

● 印字設定では、調整設定の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。

フォント設定

● フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。

動作設定

● 動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙幅設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。

8. 設定してみましょう

2 設定モード操作

● 設定モードは、本プリンタご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

2-1 基本設定操作

● 設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

印字設定

● 印字設定では、調整設定の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。

フォント設定

● フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。

動作設定

● 動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙幅設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。

8. 設定してみましょう

2 設定モード操作

● 設定モードは、本プリンタご購入時や用紙種類を変更したときなど、設定を変更する場合に使用します。設定モードには、基本設定、通信設定、拡張設定、HEX ダンプ、設定初期化があります。

2-1 基本設定操作

● 設定モードには、印字設定、フォント設定、動作設定があります。

印字設定

● 印字設定では、調整設定の確認および印字速度、印字濃度、基点補正の設定ができます。

フォント設定

● フォント設定では、ゼロスラッシュ、プロポーショナルピッチ、文字コード、漢字コードの設定ができます。

動作設定

● 動作設定では、動作モード、バックフィード動作、用紙幅設定、センサタイプ、節電時間の設定ができます。

8. 設定してみましょう

2-2 通信設定操作

●通信設定では、インタフェース、通信プロトコル、ステータス返送タイミングを設定できます。
初期値は、下記画面のカーソルの設定値になります。

通信設定
インタフェース
自動検出

①使用するインタフェースを設定します。
発行/選択キーで「自動検出」、「USB」、「LAN」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「自動検出」は、電源 ON 時に接続されているインタフェースを自動検出します。
・「USB」は、USB が接続されている場合、設定モードに変わります。LAN が接続されている場合、手順②に変わります。USB と LAN が同時に接続されている場合、USB モードで動作します。
・「LAN」は、LAN のみ通信可能です。手順②に変わります。

通信設定
通信プロトコル
STATUS4

②通信プロトコルを設定します。
発行/選択キーで「STATUS4」、「STATUS3」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「STATUS4」は、プリンタドライバを使用するときに設定します。
・「STATUS3」は、プリンタドライバを使用せず、直接操作するときに設定します。
設定モードに変わります。

通信設定
ステータス返送タイミング
ENQ 応答

③ステータス返送タイミングを設定します。
発行/選択キーで「ENQ 応答」、「周期応答」を選び、**発行/選択キー**を押します。設定モードに変わります。
・「ENQ 応答」は、コンピュータからステータス要求 (ENQ) を受信するとプリンタからコンピュータにステータスを返送します。
・「周期応答」は、900ms 間隔でプリンタからコンピュータにステータスを返送します。

※ LAN の設定には、プリンタ設定ツールをご利用ください。詳細については、プリンタ設定ツール説明書をご覧ください。
※ アクセサリ CD-ROM については、販売店、ディーラー、または弊社営業担当者にお問い合わせください。

2-3 拡張設定操作

●拡張設定では、濃度レンジ、コマンド一音、コマンドエラー表示、ヘッドチェック、起動時オンライン、制御コード、優先設定を設定できます。
初期値は、下記画面の数値およびカーソルの設定値になります。

拡張設定
濃度レンジ
A B

①濃度レンジを設定します。
発行/選択キーで濃度レンジを選び、**発行/選択キー**を押します。
・「A」を選びます。変更は不要です。

拡張設定
コマンド一音
有効 無効

②コマンド一音の有効、無効を設定します。
発行/選択キーで「有効」、「無効」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「有効」は、コマンドエラー発生時にブザーが鳴ります。ブザー音を無効に設定するとブザーが鳴りません。
・「無効」は、コマンドエラー発生時にブザーが鳴りません。

拡張設定
コマンド一音表示
有効 無効

③コマンド一音表示の有効、無効を設定します。
発行/選択キーで「有効」、「無効」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「有効」は、コマンドエラー発生時にコマンドエラー画面を表示し、発行を停止します。
・「無効」は、コマンドエラー発生時にコマンドエラー画面を表示しません。

拡張設定
ヘッドチェック
有効 無効

④ヘッドチェックの有効、無効を設定します。
発行/選択キーで「有効」、「無効」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「有効」は、ヘッドチェック機能を有効にします。手順⑤に変わります。
・「無効」は、ヘッドチェック機能を無効にします。手順⑥に変わります。

拡張設定
チェック範囲
通常

⑤ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。
発行/選択キーで「通常」、「バーコード」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「通常」は、印字領域をチェックします。
・「バーコード」は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコードに設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、イメージデータとして印字するためチェックされません。

拡張設定
ヘッドチェック方法
枚数指定

⑥ヘッドチェック方法を設定します。
発行/選択キーで「枚数指定」、「開始終了指定」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「枚数指定」は、1 枚ごとにヘッドチェックします。手順⑦に変わります。
・「枚数指定」は、指定した枚数ごとにヘッドチェックします。手順⑧に変わります。
・「開始終了指定」は、印字開始前と印字停止やバックフィード時にヘッドチェックします。手順⑧に変わります。

拡張設定
枚数指定
000001 枚

⑦何枚ごとにヘッドチェックをおこなうかを設定します。
発行/選択キーで枚数を設定し、**発行/選択キー**を押します。
・設定範囲は、000001～999999 枚です。
・カーソルのある桁で、**発行/選択キー**で設定値を設定し、**発行/選択キー**を押します。カーソルが次の桁に変わります。一位を設定すると、手順⑧に変わります。

◆ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の自覚で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします (印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります)。ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキヤン読取りをおこなって確認してください。

ヘッドエラー発生時の対応方法
＜ヘッドチェック範囲設定が通常の場合＞
●**発行/選択キー**を 5 秒間押しと、ヘッドチェック範囲設定画面を表示します。
・「通常」を選ぶと、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面を表示します。
・「バーコード」を選ぶと、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。

●**発行/選択キー**と**発行/選択キー**を同時に 5 秒間押しと、ヘッドチェックを解除して停止中状態になります。

＜ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合＞
●**発行/選択キー**と**発行/選択キー**を同時に 5 秒間押しと、ヘッドチェックを解除して停止中状態になります。

8. 設定してみましょう

3 テスト印字モード操作

本プリンタの設定内容を確認したいときは、テスト印字をしてみましょう。本プリンタの電源が入っている場合、電源を切ってください。**発行/選択キー**を押しながら電源を入れます。**発行/選択キー**を押したままにしてください。ディスプレイに次のように表示します。

テスト印字
モード選択
ユーザーテスト

①**発行/選択キー**で「ユーザーテスト」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「ユーザーテスト」は、本プリンタの設定内容を印字します。
・「ユーザーテスト」以外は、弊社のカスタマー・エンジニアが確認する内容を印字します。使用しないでください。

テスト印字
サイズ選択
大きい 小さい

②**発行/選択キー**で「大きい」、「小さい」を選び、**発行/選択キー**を押します。
・「大きい」は、104mm 幅のラベルサイズで印字します。
・「小さい」は、50mm 幅のラベルサイズで印字します。

テスト印字
決定 ⇒ 発行開始

③テスト印字開始の画面です。**発行/選択キー**を押すと、テスト印字を開始します。テスト印字を終了する場合は、電源を切ってください。

テスト印字
決定 ⇒ 発行停止

④テスト印字中の画面です。**発行/選択キー**を押すと、テスト印字を停止します。手順②に変わります。

9. あれ？どうしたのかな

エラー表示が出たけれど

※メッセージは、スクロールして表示します。

エラー表示	説明
エラー1 マシンエラー	マシンエラーの画面です。 メッセージ：マシンエラー 原因：①基板の不具合です。 対策：①販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
エラー2 ROM エラー	ROM エラーの画面です。 メッセージ：ROM エラー 原因：①ROM にアクセスできません。 ②書き込み回数がオーバーしています。 対策：①②販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
エラー7 カバーが開	カバーオープンの画面です。 メッセージ：カバーが開いています 原因：①カバーがロックされていません。 ②カバー開閉検知用マイクロスイッチの異常です。 対策：①カバーをロックしてください。 ②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
エラー10 用紙を正し	センサエラーの画面です。 メッセージ：用紙を正しくセットしてください 原因：①用紙センサのレベルが合っていないです。 ②センサ種の設定が合っていないです。 対策：①②販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

エラー表示	説明
エラー11 ヘッドが断	ヘッドエラーの画面です。 メッセージ：ヘッドが断線しています 原因：①サーマルヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
ERROR14 DOWNLOAD DATA ER	ダウンロードエラーの画面です。 メッセージ：DOWNLOAD DATA ERROR 原因：①不正なダウンロードデータを受信しました。 ②ダウンロード領域がありません。 対策：①ダウンロードデータを確認してください。 ②ダウンロードデータのサイズを確認してください。
エラー15 用紙が切れ	カッタエラーの画面です (カッタ仕様のみ)。 メッセージ：用紙が切れませんでした 原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しました。 ②カッタが所定の位置に戻っていません。 対策：①用紙を取り除いてください。 ② 発行/選択キー を押してカッタ刃を所定の位置に戻してください。それでも解決しない場合は、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
エラー21 不正な漢字	漢字データエラーの画面です。 メッセージ：不正な漢字データを読み込みました 原因：①メモリから不正なデータを読み込みました。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

エラー表示	説明
エラー26 オーバーヒ	オーバーヒートエラーの画面です。 メッセージ：オーバーヒートエラーです。少々お待ち下さい 原因：①プリンタ内の温度が許容範囲を超えました。 対策：①一定時間放置し、プリンタ内の温度を下げてください。温度が下がるとエラーが解除され、自動で復帰します。 警告音：長音 3 回
エラー27 データが不正です Caaa<bb>cc	コマンドエラーの画面です。 メッセージ：データが不正です+ 原因：①印字データ中に不正なコマンドまたはコマンドパラメータを検出しました。 Caaa：エラー発生位置、<bb>：エラーコマンド、cc：エラー種別コード 対策：①印字データを確認してください。送信したデータを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回

※コマンドエラー画面はスクロール表示しません。

9. あれ？どうしたのかな

警告表示

警告表示	説明
用紙がセツ	用紙待ちの画面です。 メッセージ：用紙をセットしてください 原因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。 対策：①②用紙を正しくセットしてください。 警告音：短音 3 回
発行中 000000	受信バッファアフルの画面です。 原因：①受信バッファの空き容量が少なくなりました。 対策：①バッファアフルが解除されるまで、コンピュータからデータを送信しないでください。 警告音：なし
発行中 000000	コマンドエラーの画面です。 原因：①印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 対策：①送信したデータを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 1 回
発行中 000000	ヘッドエラーの画面です。 原因：①ヘッドチェック検出方法を「通常」に設定した状態でヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を「バーコード」に切替えて印字発行を継続しているか、ヘッドチェックを解除して印字発行を継続しています。 対策：①サーマルヘッドを交換してください。 警告音：なし
印字休止中	印字休止中の画面です。 原因：① 1 枚単位の印字率が一定量を超えました。 対策：①一定時間放置すると、自動で復帰します。 警告音：なし

10. 基本仕様

モデル名	パートロニクス CF40BT
印字方式	感熱方式
ヘッド精度 (解像度)	8dot/mm (203dpi)
印字有効エリア	最大 長さ 400mm × 幅 104mm
印字速度	50 ~ 150mm/秒 (ハクリ仕様: 50 ~ 100mm/秒) 2 ~ 6インチ/秒 (ハクリ仕様: 2 ~ 4インチ/秒) ※ただし、印字レイアウト、用紙種類によって、制限が発生する場合があります。
印字禁止領域	長さ方向上: 1.5mm 以下、下: 1.5mm 以下 (台紙含まず) 幅方向 左: 1.5mm 以下、右: 1.5mm 以下 (台紙含まず)
用紙種類 / 用紙形態	サトー製品の用紙「純正」のご使用をお願いします。 ファンフォルド紙 単枚 ロール紙 (表巻き) (外部供給)
用紙厚	80 ~ 210 μm (0.080 ~ 0.21mm) カッタ仕様: 80 ~ 120 μm (0.080 ~ 0.12mm)
用紙サイズ () は台紙サイズ	連続発行 長さ 25 ~ 397mm (28 ~ 400mm) 幅 25 ~ 115mm (28 ~ 118mm) ティアオフ 長さ 25 ~ 397mm (28 ~ 400mm) 幅 25 ~ 115mm (28 ~ 118mm) カッタ 長さ 25 ~ 397mm (28 ~ 400mm) 幅 25 ~ 115mm (28 ~ 118mm) ハクリ 長さ 25 ~ 100mm (28 ~ 103mm) 幅 25 ~ 115mm (28 ~ 118mm) 単枚発行 長さ 127 ~ 397mm (130 ~ 400mm) 幅 25 ~ 115mm (28 ~ 118mm)
用紙外径 / 支管サイズ	ファンフォルド紙 積み高さ：最大 100mm ロール紙 (外部供給装置を使用) 用紙外形：最大 φ 115mm 支管外形：φ 40mm (φ 1.5インチ) 巻き方向：表巻き
動作モード	標準：連続、ティアオフ オプション：カッタ、ハクリ (ロール紙のみ)
寸法 / 重量	幅 178mm × 奥行き 112mm × 高さ 146mm (ただし、突起部を除く) / 約 1.5kg
電源仕様	入力電圧：AC100V ± 10% 消費電力：78VA/50W (印字率 16%) 待機時 5.6VA/2.3W (最小消費)
環境条件 (温度 / 湿度)	使用温度：0 ~ 40℃ 湿度：30 ~ 80% RH (ただし、結露無きこと) 保存温度：-5 ~ 60℃ 湿度：30 ~ 90% RH (ただし、結露無きこと)

インタフェース	① USB インタフェース ② LAN インタフェース
オプション	①カッタキット ②ハクリキット ③外部供給装置 (UWC400)
操作キー	①電源キー ②発行 / 選択キー ③発行 / 決定キー
用紙長検出センサ	①アイマーカーセンサ ②バックアップセンサ ③ラベル位置検出センサ
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、GS1 128(UCC/EAN128)、ISBT128、CODABAR(NW-7)、ITF、インダストリアル2of5、マトリックス2of5、MSI、カスタムバーコード、UPC Aオゾンコード、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は旧 RSS のことです。
2次元コード	QR コード (マイクロ QR 含む)、セキスイティ QR、PDF417 (マイクロ PDF 含む)、MAXI コード、データマトリックス (ECC200)、GS1 データマトリックス
合成シンボル	EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、UPC-A Composite、UPC-E Composite、GS1 DataBar Composite、GS1 DataBar Truncated Composite、GS1 DataBar Stacked Composite、GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、GS1 DataBar Expanded Composite、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、GS1 DataBar Limited Composite、GS1 128 Composite ※ GS1 DataBar は旧 RSS のことです。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ
QR コードは株式会社ソニー・グループの登録商標です。

標準搭載フォント	ビットマップフォント	X20 文字	5 × 9dot (英数字、記号、カナ)
		X21 文字	17 × 17dot (英数字、記号、カナ)
		X22 文字	24 × 24dot (英数字、記号、カナ)
		X23 文字	48 × 48dot (英数字、記号、カナ)
		X24 文字	48 × 48dot (英数字、記号、カナ)
		OCRA 文字	15 × 22dot (英数字、記号)
		OCR-B 文字	20 × 24dot (英数字、記号)
		漢字	16 × 16dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体)
		漢字	22 × 22dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体)
		漢字	24 × 24dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体)
		日本語	(JIS X 0213 準拠)
アクトラフフォント	英数字、記号、カナ		
印字方向 (文字・バーコード)	文字：0°、90°、180°、270°の回転が可能 バーコード：(ラレール 1(0°)、ラレール 2(180°)、シリアル 1(90°)、シリアル 2(270°)		
バーコード比率	1:2、1:3、2:5、任意指定可能		
拡大倍率	文字：縦 1 ~ 12 倍、横 1 ~ 12 倍 バーコード：2 ~ 12 倍		
搭載機能	①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 (グラフィック印字指定) ③消番機能 (消番指定) ④フォームオーバーリ機能 (電源断消去) ⑤外字登録機能 (電源断消去) ⑥文字修正機能 (スムージング指定) ⑦色濃度調整機能 ⑧郵箱機能 ⑨ゼロスラッシュ切替機能 ⑩JIS/シフトJIS/Unicode 切替機能 ⑪HEX ダンプ機能 ⑫アクトラフフォント機能 ⑬アクトラフフォント変形機能 ⑭用紙種類なし機能		
自己診断機能	①ヘッド切れチェック ②カバーオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④テスト印字 ⑤文字データチェック ⑥カッタエラー (カッタ仕様)		
ノイズ (EMC) 規格	VCCI Class B		

11. 毎日のお手入れ

※ クリーニングペンおよびプリンタクリーニングセット、ラッピングシートはオプションです。
ご購入の際はサポートセンター、販売店にお問い合わせください。

ラベルをきれいに印字するため、また、故障を防ぐために、定期的に清掃してください。

注意
清掃するときは、必ず電源を切ってください。
カッタ仕様の場合、手を切らないように注意してください。

お手入れの時期

- お手入れの時期の目安は、次のとおりです。
●**クリーニングペン、プリンタクリーニングセットでのお手入れ**
・サーマルヘッド、プラテンローラー
… 用紙 1 束おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
・その他 (ラベルガイド、ラベルリットなど)
… 用紙 6 束おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと
●**ラッピングシートでのお手入れ**
… 用紙 6 束おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

お手入れのときの注意

- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット、ラッピングシートをご使用ください。
- ドライ(などの吸い取り)機を使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源を必ず切ってからおこなってください。
- 用紙を取り外してから清掃をおこなってください。

清掃のしかた

【クリーニングペンを使用】

- トップカバーを開き、サーマルヘッド部分を見えるようにします。
 - クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
- ※ トップカバーが閉じないように押さえながら清掃してください。



【プリンタクリーニングセットを使用】

- 全体にプリンタ清掃液を付けて、プラテンローラーを回転させて、ローラー全体を清掃してください。
- ※ トップカバーが閉じないように押さえながら清掃してください。
- ※ カッタ仕様の場合、手を切らないよう注意してください。

【ラッピングシートを使用】

クリーニングペンやプリンタクリーニングセットの清掃で汚れが取り除けない場合は、ラッピングシートをご利用ください。ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

12. アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご利用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。保守サポート業務について、ご説明します。

【保守サポートの種類一覧表】

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から 5 年間です。(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <http://www.sato.co.jp> でご確認ください)

【保守サポートの内容一覧表】

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様の要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで (運送して) いただいた、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

【保守サポートの説明】

保証期間内の保守サポート
製品は 1 台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご利用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離 30km (カッタ 30 万回) または納入から 6 か月間の早引が無償修理対応となります。

【保守契約サポート】

最良の状態をご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア (CE) が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

12. アフターフォローについて

2. **全国ネットワークでスピーディーな対応 (出向保守のみ)**
全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が最早へ修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最速発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとにパッケージ。予算を立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご利用環境に応じた様々なプラン (保守対応・時間帯など) をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

【スポットサポート】

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までにお数かかると場合がございますが、ご了承ください。

スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

銀行預金口座振込は、振込手数料が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械に登録された各種データ・ソフト (フォーマット、印字ソフトなど) が壊れる場合があります (登録された各種データ、ソフトの保証はできません)。特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。